
悲しき思いを涙にこめて

参源優

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悲しき思いを涙にこめて

【コード】

N0301H

【作者名】

参源優

【あらすじ】

雨の中血に濡れた私は空の彼方にいる彼のことを思う。

『ポツ、ポツ、ポツ』

今日もまた雨が降る。荒れ果てた大地に雨は吸い込まれていく。

空を仰ぎて彼を見る。

私は今日もたくさんの命を奪ってしまった。

体にはたくさんの血しぶき、手には血塗られた鎌を握っている。

その血を洗い流すかのように雨は私を濡らしていく。

私から滴り落ちる血、大地はそれすらも吸い込んでしまう。

空を仰ぎて彼を見る。

雨は次第に激しさを増していく。この雨は当分止むことはないの
だろう。

なぜならこの雨は彼の涙。

透明な涙を流すことのできない私の代わりに彼は涙を流している。

彼は私を愛してくれる。それなのに私は彼を愛せない。

愛したいと私の心は叫ぶ、だが私の理性がそれを拒んでしまう。

私と彼が一つになってしまったら、その時世界が終わってしまう。

だから彼を愛せない。愛したいのに愛せない。

私の瞳から涙が一筋流れていく。

流れ落ちた涙は血のように赤い。

私の涙はとうの昔に枯れ果てた。

長い年月が私の涙を枯らしてしまった。

だがそれでも涙は流れていく。

まるで血のようなその涙は、私が奪った命のように私の手からこぼれていく。

空を仰ぎて彼を見る。

彼はいつまでも私を見つめてくれている。

それでも私は彼を愛せない。

彼と私は違いすぎる。

創造と破壊ではあまりにも違う。

それなのに彼は私を求めている。

私も彼を求めてしまう。

愛しているのに愛せないそのことがとても辛い。

彼はすべてを創りだす。ゆえに彼はすべてを愛している。

私はすべてを愛している。だからすべてを破壊しないといけない。

空を仰ぎて彼を見る。

雨はもうすぐ止みそうだ。

私もいつまでもここにいるわけにはいかない。

私はこの場を後にしようと踵を返す。

一歩二歩と歩みだす。

だが彼に呼び止められた気がして私は振り返る。

雲の切れ間から太陽の日差しが差し込んでいる。

その光によって空には七色に輝く虹の架け橋が掛っていた。

それはまるで彼から私にあてたラブレターのようだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0301h/>

悲しき思いを涙にこめて

2010年10月20日19時40分発行